

夏になると心配な【汗対策】

暑くなってくると心配なのが汗による故障・・・特に耳掛型補聴器の場合は耳の後側が汗の通り道になり一番影響を受けます。最近、汗や水に強い安心構造の補聴器も出ていますが、やはりほとんどの場合は完全防水ではないので汗や水に大変弱い構造です。そして、子どもは大人以上に汗かきです。これからの時期、十分な対策を確認していきましょう。

乾燥ケース/詰め替え用シリカゲル

① ドライケースで保管

補聴器を乾燥剤で乾燥させる。中の乾燥剤は定期的に交換。

ポイント1:ドライケースは蓋がしっかり密閉できるもの

ポイント2:乾燥剤の色に注目。

*ピンク色になると、十分に湿気を取り除けませんので早めの交換を。




ポイント3:電池は外して。

*ドライケースに電池を入れると寿命が短くなります。電池を外してください。



② 汗カバーの装着

補聴器の表面を、軽くて柔らかい素材で覆うことで、汗の侵入を防ぎ、汗や湿気の影響を極力少なくしてベタベタを防ぎます。色々な素材があるので、素材の選択も重要です。

	綿素材の汗カバー。汗の吸水性はいいですが速乾性ではないのでこまめにカバーを交換する必要が考えられます。補聴器への装着はわりと簡単。おしゃれなものもあるが、厚みがあると耳から浮くことも有り。
	スパンデックス素材の汗カバー。ポリウレタン弾性繊維で収縮性があります。汗の給水性もよく速乾性も少し有りバランスのとれた感じだが、装着が少しにくいのが難点。
	素材は化学繊維の汗カバー。リオネット社から他のよりかなりお安く発売されています。汗をすばやく吸収し速乾性。マイクまで覆うので、厳密には影響があるようですが、風きり音などは軽減されるようで問題なく使えるようです。

*人工内耳も補聴器同様、湿気に弱いデリケートな器械です。スピーチプロセッサの乾燥と清掃も毎日行ってください。

*イヤモールドも雑菌がわきやすくなっています。除菌ティッシュなどで 毎日の手入れをお願いします。